

農業委員会だより

発行:中標津町農業委員会 編集:広報特別委員会

農業なかしべつ

第49号

第44回家族協定書手交式



今年、経営移譲されたご家族が家族経営協定書を締結し、令和8年4月8日に中標津町役場にて手交式が執り行われました。

当日は4家族が出席され、式典は主催者である本田会長の挨拶から始まり、来賓としてご臨席いただいた西村町長および澤田根室農業改良普及センター北根室支所長より祝辞を賜りました。その後、JA中標津飯島組合長と地区担当農業委員の立会いのもと、協定書の手交が行われました。

飯島組合長からは、出席された皆さんへ激励の言葉が贈られ、その言葉に耳を傾ける表情に感慨深さを感じられました。また、それぞれの前経営主には、長年にわたるご苦労に対するねぎらいの意を込めて、感謝状と記念品が贈呈されました。

なお、今回の手交式には出席されなかった大友家につきましては、ご自宅にて協定書の手交、および感謝状と記念品の贈呈を行いました。

これからの経営が始まる中で、経営移譲を祝福するとともに、ご家族の皆様が協力し合いながら、日々健やかに農作業に励まれることを心よりお祈り申し上げます。

みなさんおめでとうございます！



佐藤家(豊岡)



遠藤家(俣落)



飯島家(当幌)



三輪家(開陽)

農業委員会の新体制始動にあたり

中標津町農業委員会 会長 竹村 聡



この度、中標津町農業委員会会長に推薦され、就任しました当幌地区の竹村聡です。3期9年を終え、4期目の委員でございます。まだまだ未熟ですが宜しくお願いします。

昨今、根室管内では休農・離農が多く、管内農業委員会の話題になるところですが、遊休農地の低減・利用集積を基本に円滑に業務を推進したいと思います。計根別地区におきましては、一部別海町という全道的にも特殊な環境の農業委員会で、業務を進めていくうえで別海町農業委員会との情報交換が必要でございます。それら留意致しまして、管内農業委員会とも連携を図り、業務を進めてまいりたいと思います。

また、昨年度より北海道農業公社を介しての農地の売買については、新しく手数料が発生しております。当農業委員会としては反対の立場ですが、今後、国の動向を注視して参りたいと思います。

結びになりますが、今回の改選で新たに7人の農業委員が変わりました。業務に慣れるまでしばらく時間が必要かと思われますので、温かく見守って頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

農業委員会の新体制のご紹介



3年間の農業委員任期満了に伴い新しい農業委員が町長より任命され、7月29日の第1回総会において、新たな体制が決まりましたのでご紹介します。皆様からのご理解とご支援を賜りながら活動を行っていく所存でございますので、何卒宜しくお願い致します。それぞれ担当地区がありますので、相談ごとは各地区の農業委員若しくは事務局へお尋ねください。

委員数：18名、任期：令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間

①年齢 ②在住地 ③担当地区 ④好きなもの



会長

たけむら さとる
竹村 聡
(現・4期目)

- ①63歳 ②東当幌
③全般
④ゴルフ(行きたい)



会長代理

にへい ひろき
二瓶 裕貴
(現・3期目)

- ①53歳 ②計根別
③計根別
④大きな作業機械を
運転すること

農政委員会



委員長

 こうだ ひろき
後藤 宏幸
 (現・5期目)

- ①60歳 ②開陽 ③開陽
④お酒を飲むこと



副委員長

 たなか ひろき
田中 洋希
 (現・4期目)

- ①61歳 ②南養老牛 ③養老牛
④山菜採り



委員

 ほんだ たけし
本多 健
 (新・1期目)

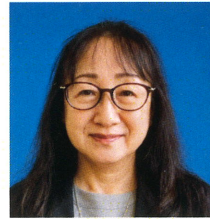
- ①53歳
②南依橋第二
③依橋
④パソコン自作



委員

 いたばし たくみ
板橋 匠
 (新・1期目)

- ①57歳
②東俣落
③俣落
④燻製作り



委員

 いたばし ひろみ
板橋 弘美
 (新・1期目)

- ①62歳
②西4条北
③市街地他
④猫と孫。健康であることの大切さを日々感じています



委員

 やまだ のぼる
山田 昇
 (新・1期目)

- ①63歳
②西当幌
③当幌
④スポーツ観戦



委員

 やました ゆきえ
山下 幸枝
 (現・2期目)

- ①57歳
②計根別
③市街地他
④3匹の猫と暮らし日々癒されながら「ねこ部」を楽しんでいます



委員

 すけぐち あきら
助口 明
 (現・2期目)

- ①64歳
②旭新養老牛
③計根別農協管轄
④ご飯をいっぱい食べるのが好き。愛車マツダ RX-7をピカピカに磨くこと

農地委員会



委員長

 はせがわ こうじ
長谷川 孝二
 (現・4期目)

- ①56歳 ②西竹 ③西竹
④楽しいお酒を飲むこと



副委員長

 おぬま たけし
小沼 大
 (現・2期目)

- ①41歳 ②南武佐 ③武佐
④地域の貢献に頑張ります



委員

 いぬい もとき
乾 元樹
 (新・1期目)

- ①45歳
②俵中
③中標津農協管轄
④読書!



委員

 かねこ ゆうじ
金子 雄司
 (新・1期目)

- ①46歳
②共成
③依橋
④焼鳥と赤星が大好き



委員

 からさき たかみち
唐崎 幸道
 (新・1期目)

- ①47歳
②東西竹
③東西竹
④車イジリ



委員

 にしづか ともや
西塚 知也
 (現・2期目)

- ①44歳
②上標津
③上標津
④ドライブ・食べ歩き



委員

 おさか ただとし
櫻坂 直俊
 (現・2期目)

- ①47歳
②南中
③南中・協和・豊岡
④旅行



委員

 よこた ちあき
横田 千秋
 (現・3期目)

- ①66歳
②高嶺
③第二俣落・西竹
④美味しいお酒



退任のご挨拶

長い間お疲れ様でした

本田 信幸(6期)

18年に渡り農業委員として農地行政に関わり、様々な経験をさせていただき、関係機関の方々や特に農家の諸先輩の皆さんに厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

船越 信雄(1期)

1期3年あっという間でしたが同僚委員、関係する皆様のご指導、ご協力により微力ながら務めさせて頂きました。深く感謝申し上げますと共に今後の地域農業の発展をご祈念申し上げます。

瀧本 和男(3期)

3期9年局長はじめ事務の皆様と他の委員との協力で務めさせて頂きました。離農が増え、農地の維持が難しい時期です。これからも農業委員の努力をお願いします。簡単ですが退任のあいさつとします。

本当にお世話になりました。

笠原 康博(5期)

私が農業委員になったのは15年前。その頃はさほど休農もなく、仕事の量は知れたものでしたが、その後クスター事業関連の現地確認等、仕事量はどんどん増えました。色々忙しい思いはしましたが楽しいこともありました。何度か行った研修会は勉強にもなり、普通なら行けないところにもたくさん行かせてもらいました。活動を通じ、いろいろな経験をさせてもらい、たくさんの人仲間とも知り合い充実した15年でした。事務局を始めお世話になった皆様方に心よりお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

遠藤 昭男(1期)

この度令和8年7月19日をもちまして3年間努めさせて頂きました農業委員の任期を満了し退任しました。在任中は農地利用集積や保全をはじめ、地域農業の発展に向けた取り組みにおいて、会長を始め委員の皆様、事務局の皆様にご多大なるご指導とご協力を賜り、無事に大過なく任期を全う出来ましたこと深く感謝申し上げます。農協からという立場ではございましたが、現場の生の声を政策や地域の議論に反映させる重要性を身をもって学び大変貴重な機会となりました。今後は農協の立場に戻り農業委員会で得た知識と経験を活かし、地域農業の更なる発展に微力ながら貢献して参る所存です。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝と農業委員会の今後の発展を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。3年間ありがとうございました。

福島 寿顕(1期)

依橋地区代表農業委員として3年間務めさせて頂きました。農業委員会の役割や定数また役場の担当職員の負担の多さ等、今後改善すべき点が多々ありますが中標津町の基幹産業である農業の発展の為、次期農業委員会の皆様には各関係団体との連携を深め御尽力頂きたいと思えます。最後に中標津町の農業の益々の発展と関係する皆様の御健勝、御活躍を御祈念申し上げまして退任の挨拶とさせていただきます。3年間大変お世話になりました。

中村 正生(5期)

5期15年自分の走行区間を完走できました。神の助けと守りを感謝しつつ、家族の理解と協力に感謝しています。また、委員会活動を通して得られた数多くの出会い。委員にならなければ会うこともなかった委員との多くの出会いに感謝です。お一人お一人に心よりお礼申し上げます。広報委員長としての活動期間に新規就農の牧場を訪問して話を伺う機会が度々あり、その心意気に随分と励まされたことも良い思い出です。最後に事務局職員の皆様の助けとサポートに支えられた15年でした。ありがとうございました。



新任委員から一言

これからよろしく お願いします

板橋 弘美

この度中立委員として初めて農業委員となりました。先輩の皆様に教えて頂きながら頑張るつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

本多 健

依橋地区から新任で選出されました本多健です。地域農業発展のため、勉強してまいりますので、よろしくお願いいたします。

乾 元樹

JA中標津より団体推薦委員として就任した乾元樹です。よろしくお願いいたします。

山田 昇

当幌地区から選出された山田です。地域のために頑張りたいです。よろしくお願いいたします。

唐崎 幸道

この度農業委員に就任いたしました。酪農を基幹産業とする中標津の豊かな農地と営みを未来へ繋ぎ、地域農業の発展に微力ながら努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

金子 雄司

依橋地区から推薦されました金子雄司です。地域農業を守り、次世代へ繋ぐために尽力してまいります。皆様と連携しながら誠心誠意努めますので宜しくお願い致します。

板橋 匠

農業について、行政について学ぶ事がたくさんありますが、地域のために頑張りたいです。

女性農業者のみなさんへ

農業者年金は今のあなたと
老後のあなたを応援します

老後生活
への備えは
十分ですか？

ポイント
1

「終身年金」

で女性の長い老後を
しっかりサポート

ポイント
3

税制面で

大きな
優遇措置

ポイント
2

家族経営協定を
結ぶなどした方には

保険料の
国庫補助

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

年間60日以上
農業に従事

国民年金第1号
被保険者

国民年金保険料納付免除者を除く。

原則60歳未満

国民年金の任意加入被保険者で
あれば、60歳以上65歳未満で
加入が可能です。

詳しくは…

農業者年金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



ポイント1

「終身年金」で、女性の長い老後をしっかりサポート

● 農業者の老後の生活の収入は、国民年金＋農業者年金が基本です！

高齢農家の家計費は夫婦お二人で約26.4万円が必要となるデータがあります。(令和7年総務省家計調査夫婦高齢者 無職世帯より)

国民年金の支給額は夫婦お二人で月額最高約14.2万円です。➡ **月額約12万円不足**

現在65歳の日本人の平均余命は、男性が20年(85歳)、女性が24年(89歳)で、女性は男性より4年程長生きです。女性は、自分自身の年金を終身年金で準備することが重要です。

■ 農業者年金に夫のみ加入した場合と夫婦で加入した場合の比較

夫が87歳で亡くなったと仮定。夫と妻は同年齢で、農業者年金へは30歳で保険料月額2万円で通常加入したとして比較。

	65歳～87歳の年金額(夫婦)	88歳以降の年金額(妻のみ)
ケース1 農業者年金に夫のみ加入	国民年金 夫 月額 約7万1千円 妻 月額 約7万1千円 計 月額 約14万2千円 国民年金付加年金 夫 月額 6千円 農業者年金 夫 月額 約5万3千円 合計: 月額 約20万1千円	国民年金 妻 月額 約7万1千円 国民年金付加年金 なし 農業者年金 なし 合計: 月額 約7万1千円
ケース2 農業者年金に夫婦で加入	国民年金 夫 月額 約7万1千円 妻 月額 約7万1千円 計 月額 約14万2千円 国民年金付加年金 夫 月額 6千円 妻 月額 6千円 計 月額 1万2千円 農業者年金 夫 月額 約5万3千円 妻 月額 約4万7千円 計 月額 約10万円 合計: 月額 約25万4千円	国民年金 妻 月額 約7万1千円 国民年金付加年金 妻 月額 6千円 農業者年金 妻 月額 約4万7千円 合計: 月額 約12万4千円

【上記試算の条件及び留意事項】

- ・農業者年金の試算額については、65歳までの2.5%、65歳以降の予定利率は2.30%として行っています。
- ・予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和8年度は2.30%となっています。
- ・各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。
- ・国民年金の年金額は、令和8年度の年金額の満額を基にしています。
- ・国民年金付加年金は、農業者年金と同時に加入したものととして算定しています。

ポイント2

家族経営協定を結ぶなどした方には保険料の国庫補助

- ・認定農業者等で青色申告をしている方と、家族経営協定を結ぶなどの一定の要件を満たせば、保険料の国庫補助が受けられます。(月額2万円のうち最大1万円、通算で最大216万円)
- ・保険料の国庫補助分は、将来、家族経営協定を破棄等すれば、特例付加年金として受給することができます。

ポイント3

税制面で大きな優遇措置

- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象
同一生計の家族分の保険料を支払っている場合、家族分も含めて控除の対象となります。
- 保険料の運用益が非課税
- 将来年金として受け取る際も控除の対象

自分のできる
年金額シミュレーションは
こちらから ➡



農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

● 専門相談員

TEL: 03-5919-0371

● 企画調整室

TEL: 03-5919-0332

農業者年金と国民年金基金(旧みどり年金を含む)又は個人型確定拠出年金(iDeCo)とは重複加入できませんのでご注意ください。

中標津町農業委員会は、地域が抱える農業課題の解決に資する知見を収集し、委員会活動や当町農業者への還元のため、道内の先進事例を対象とした現地視察研修の実施に取り組んでいます。

地域課題解決先進事例 視察研修レポート

中標津町農業委員会では、5月14日から16日の日程で十勝方面への視察研修を実施しました。町内の農業者は年々減少傾向にあり、この先十勝の農業から何かヒントがあればと視察を検討しました。

15日の午前に鹿追町環境保全センターで、家畜ふん尿をはじめ、町から出る汚泥などを活用したバイオガス発電、その時に使った冷却水の熱をハウス栽培のマンゴーや沢山の水槽を用いたチヨウザメの養殖を見学しました。今年はキャビアをとることができて、今後が楽しみとのことでした。また、水素製造にも力を入れ、町内外に広く活用されていました。



午後からは、エムエスケール農業機械株式会社(芽室町)を訪問。最新式のビッグベアの納車準備や大型コンバイン、自走式ハーベスタの整備に追われていました。中でも、前後同型タイヤのゼリオントラクターの大きさにはびっくり。サイレージの調整、特に鎮圧に適している、コントラクターで導入されたものを見ることができました。



次にアグリシステム(株)(芽室町)を訪問。「次の世代までより良い環境を」という思いを強く持つ会社で、豆類、穀類の種子販売、収穫まで、フィールドでコンサルタント、収穫物の受け入れを行っていました。なかでも、あるオーガニック農家を例に取り上げていました。「緑肥を元に農薬などを使わず最低限の作業機械で栽培している。」という話には、2年に1度の収穫であっても「利益は半端なものではないはず。」と話していました。

最終日16日は、(有)ドリームヒル(上士幌町)を訪問。25年前に4軒800頭で搾乳を始め、現在では搾乳牛3,800頭、畑面積1300haで、外国人労働者を含む100名ほどで運営。敷地内はともかくハイエースで案内していただき、ロータリーパーラー、ロボット搾乳、バイオガス施設の説明を聞かせてもらいました。初期投資、維持費、修理費の問題に悩まされていたのが印象的でした。昼食には同社が経営する飲食店「ドリームラッテ」に移動。農場で飼育した肉牛をいただきました。隣接する「ドリームドルチェ」ではジェラート、ケーキなどを購入でき、6次産業にも力を入れていました。

以上、今回の視察から、大型・大規模農業の問題点を環境保全型農業を通じて、畑作や新規参入、新規就農者を受け入れ、中標津町の農地利用率が保たれることを切に願いました。

(報告 二瓶 裕貴)



お知らせ

農地パトロールを実施します

違法転用や耕作放棄地の発見・防止・是正のため「農地法第30条」に基づく農地の利用状況調査を町内全域で行ないます。国への報告のため、農地所有者へ文書による確認や敷地内に立入る場合もありますのでご理解願います。

- 期間：10月上旬から11月下旬
- 調査員：農業委員及び事務局職員

中標津町賃借料情報のお知らせ

農地法の規定により、地域における賃借料の目安になるものを農業委員会が毎年提供しております。令和7年1月から12月までに農地法及び農業経営基盤強化促進法に基づき締結（公告）された賃貸借における賃借料水準は右表のとおりです。

(単位：円/10a)

地域区分	平均額	最高額	最低額	データ数
中 標 津	3,400	4,300	2,300	61
計 根 別	2,800	5,600	1,000	76
全体平均	3,100	5,600	1,000	137

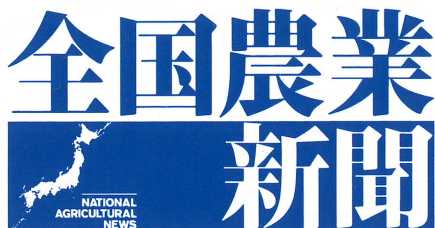
5月26日に中標津町農業者年金協議会代議員総会を開催しました

中標津町農業者年金協議会代議員総会を開催し、本年度の事業計画、収支予算などを審議したほか、3年の任期満了による、新しい代議員の中から三役と各地区の理事も選出しました。今後も適切な事務運営と事業執行に努めてまいりますので、引き続き農業者年金の加入推進活動にご理解とご協力をお願いいたします。



5月1日に中標津町農業後継者対策協議会総会を開催しました

中標津町農業後継者対策協議会の総会を開催し、令和7年度の事業報告、決算、令和8年度事業計画案、予算案を審議いただきました。対面の交流事業をメインに、後継者に出会いの機会を提供し、成婚に繋がるように創意工夫を重ねながら事業を展開・発展させていきたいと考えております。11月には札幌での交流会を開催しますので、関係各位のご協力と後継者青年皆様の参加についてよろしくお願いいたします。



全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門誌です。
お申し込みは、お近くの農業委員、農業委員会へどうぞ。

発行日：月4回 金曜日発行
形態：B3版 10～14頁縦
購読料：月900円(送料、税込み)

編集後記

農業委員の任期満了に伴う改選で本田会長をはじめ多くのベテラン委員が退任されました、お疲れ様でした。ロシアのウクライナへ軍事侵攻に端を発した混乱は未だに終息の兆しを見せず世界経済への影響が懸念されます。資源と食料を持たないわが国にとってその影響は計り知れません。一刻も早い解決を願うばかりです。(横田)

●発行元●

中標津町農業委員会

中標津町丸山2丁目22番地

TEL(0153)74-0902 FAX(0153)73-5333

http://nakashibetsu.jp/nougyou_jinkai/



広報委員長	横田	千秋
副委員長	福嶋	寿頭
委員	山下	幸枝
委員	笠原	康博
委員	竹村	聡

※改選前の体制で編集しました